

取組・活動名		熊谷を世界にアピールしよう				
校種・学年		小学校・第3学年			教科等	総合的な学習の時間
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	20時間 (9月～12月)
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	準備等	ワークシート・パンフレット
プログラムのねらい						
<p>○社会科の授業と教科横断的に関連付けて学習を進めることで、学習内容の定着を図る。</p> <p>○ラグビーワールドカップ 2019™ 開催地でもある熊谷市に住んでいることに誇りをもち、熊谷のよさを認め合う態度を育成する。</p>						
児童・生徒の実態						
<p>児童はこれまでに、オリンピックの歴史や競技、アスリート等についてポスターにまとめ、発表する活動を行ってきた。この学習を通して、調べてまとめ、表現する探究的な活動の過程を学んでいる。社会科の学習では、熊谷市の地形や名所、名産品などについて学習を済ませている。事前アンケートによると、対象とする学級の全ての児童が「熊谷市が好き」と答えているが、知識量や社会的な経験量には差が見受けられる。</p>						
プログラムと既存の学習との関わり						
<p>既存の学習との違いは、情報を発信する対象をラグビーワールドカップ 2019™ で熊谷を訪れる人と想定したことにある。熊谷をアピールすることを意識させることで、開催地であるという意識を高めていく。また熊谷市の魅力について理解を深める中で、地域の自慢や人々の思いに触れ、今まで以上に愛着と誇りをもつことができるようにする。</p>						
指導計画・評価計画						
【指導計画】						
第1次 課題の設定「熊谷について知っていることを話し合う」(3時間)						
第2次 情報の収集「テーマについて情報を収集する」(10時間)						
第3次 整理・分析「収集した情報を整理・分析する」(3時間)(本時)						
第4次 まとめ・表現「熊谷市の魅力が伝わる表現方法を考え発表する」(4時間)						
【評価計画】						
○自らの課題を見つけ、適切な学習計画をたてることができる。						【学習方法】
○自らの課題について調べたり体験したりして、情報を収集することができる。						【自分自身に関すること】
○収集した情報を正しく理解、分析することができる。						【学習方法】
○整理、分析した情報をまとめ、わかりやすく表現し、発表することができる。						【他者や社会との関わり】

